

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
1	<p style="text-align: center;">バースデイ</p> <p>企画 兵庫県・ (公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	<p style="text-align: center;">35分 R5</p>	<p>作品のテーマは、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。</p> <p>性的少数派については、依然として社会理解が進まず、差別や偏見、配慮に欠けて対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと前向きになる前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。</p> <p>性のあり方は多様で一人ひとりの人権にかかわることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権ドラマを制作しました。</p>
2	<p style="text-align: center;">夕焼け</p> <p>企画 兵庫県・ (公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	<p style="text-align: center;">35分 R4</p>	<p>作品のテーマは、「ヤングケアラー」です。核家族化が進み、祖父母や身近に生活を援助できる人がいない家庭が増加しています。小さな家族が自力で自分たちの生活を守っていかねばならない状況は、ちょっとしたトラブルやアクシデントなどの環境変化要因で、その脆さをさらけ出します。家族を支えることは家族の一員として当然のここのように見えますが、実はヤングケアラーといわれる子どもたちにその負担が及ぶと、子どもの生活に様々な支障が生じます。</p> <p>物語の主人公は共働き家庭の女子中学生、父の病氣入院で母自身の生活に余裕がなくなり、家事の一部と弟の面倒を担うことになります。けな気に我慢の生活を続ける主人公ですが、しだいに精神的に追い詰められていき、いらだちを隠せなくなります。周りの大人がそれに気づくことができればよいのですが。</p> <p>このようなことはどの家庭にも起こりえることであり、決して他人事とはいえません。現代社会の危うい一面を掘り下げた題材となっています。</p>
3	<p style="text-align: center;">カンパニユラの夢</p> <p>企画 兵庫県・ (公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	<p style="text-align: center;">36分 R3</p>	<p>作品のテーマは、「超高齢化社会とひきこもり（8050問題）」です。</p> <p>近年、主に「80代」の高齢の親が、ひきこもりが長期化した「50代」の子を支えている家庭が増加しています。「8050問題」とは、こうした家庭が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題のことです。</p> <p>背景には、家族や本人の病氣、親の介護、離職（リストラ）、経済的困窮、人間関係など、複合的な課題を抱えながらも、親子共倒れの問題が発生するまでSOSの声を上げることができない、現在の超高齢化社会における「家族の孤立」が地域に潜在していることがあります。</p> <p>この作品は、2つの家族の視点で進行します。主人公はあることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気付きます。一方、20年以上ひきこもり状態にある隣家では問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせないまま苦悩しています。解決策は見出せるのでしょうか。この問題は誰でも起こりうることと認識させてくれる作品となっています。</p>

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
4	<p>サラーマット ～あなたの言葉で～</p> <p>企画 兵庫県・ (公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	36分 R2	<p>今回の作品のテーマは、「SNS時代における外国人の人権」です。</p> <p>訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。</p> <p>また、スマートフォンの急速な普及によって、SNS内でのいじめなどが深刻化し、社会問題になっています。一人ひとりがSNSを利用する際のマナーや配慮について考えていく必要があります。</p> <p>この作品の主人公は、新しく職場に来たフィリピン人に対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方の対立や交流を通して、新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。この作品は、外国人に対して「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用するものであることを描いています。</p>
5	<p>君がいるから</p> <p>企画 兵庫県・ (公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	33分 H31	<p>今回の作品のテーマは、「子ども・若者の人権」です。</p> <p>子どもや若者は、社会の希望であり、未来をつくる存在です。しかし、現実を顧みると、子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶ちません。今この時も虐待やいじめなどにより人権を侵害され苦しんでいる子どもや若者が「すぐ隣り」にいることに、私たちは気づかなければなりません。</p> <p>この作品は、母親からの心理的虐待に苦しむ若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描きます。</p> <p>子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人との関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。</p>
6	<p>あした咲く</p> <p>企画 兵庫県・ (公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	33分 H30	<p>「女性が輝く社会」の実現に向けて、平成27年8月の「女性活躍推進法」成立をはじめ、これまで様々な取り組みが進められてきました。しかし、現状は、職場や地域における女性の能力発揮のための環境整備や意識改革は必ずしも十分ではなく、また、女性の家事、育児、介護における負担も多い状況にあります。さらに、ドメスティック・バイオレンス（言葉の暴力を含む）やハラスメントなど女性に対する人権侵害も生じています。これらの問題は、女性が輝いて生きるための大きな障壁となっています。</p> <p>このため、私たち一人ひとりが、このような課題に目を向け、性別に関わらずその個性と能力を十分に発揮し、ともに輝ける共生社会をめざしていかなければなりません。</p> <p>この作品には、生き方の異なる姉妹が登場します。独身会社員の妹・茜と、専業主婦の姉・翠。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。姉妹での対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。</p> <p>「幸せ」の形は十人十色です。自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろん全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる、多様性尊重社会。その実現をめざすきっかけとなる人権啓発ビデオです。</p>

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
7	<p>風の匂い</p> <p>企画 兵庫県・ (公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	34分 H29	<p>障害のある人を含むすべての人々にとってすみよい平等な社会づくりを進めていくためには、国や地方公共団体が障害のある人に対する各種施策を実施してだけでなく、社会のすべての人々が障害のある人について十分に理解し、必要かつ合理的な配慮をしていくことが求められています。しかし、障害のある人に対する理解や配慮は十分とはいえ、その結果として障害のある人の自立と社会参加が阻まれて、共生社会は十分に実現されているとはいえない事例も見受けられます。</p> <p>この作品は、スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健全者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。歩との再会で正人は自分の心と向き合い、壁をなくそうと動き出します。歩もまた誇りを取り戻します。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。</p>
8	<p>ここから歩き始める</p> <p>企画兵庫県・(公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	34分 H28	<p>日本における平均寿命の大幅な伸びや、少子化などを背景として、社会の高齢化が急速に進んでいます。それに伴い、認知症高齢者も大きな社会問題になっています。平成24年に、65歳以上の認知症の人は約462万人でしたが、平成37年には、約700万人、65歳以上高齢者の5人に1人になると推計されます。高齢者を家族や地域でどのように支えていくか、また、高齢者自身の意欲や能力をどのように生かしていくかを考えることは、これからの私たちの大きな課題です。</p> <p>この作品は、「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。</p>
8	<p>あなたに伝えたいこと</p> <p>企画兵庫県・(公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	36分 H27	<p>この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。同和問題の解決を図るため、30年以上にわたって地域改善対策が行われてきました。その結果、生活環境などハード面の改善は進みましたが、結婚差別や身元調査など、意識の面では依然として課題が残されています。また、時代の経過とともに、同和問題についての正しい理解を得る機会が少なくなっています。そんな中、この作品は同和問題を正面から取り上げ、この問題が決して他人事ではないこと、正しく知ることが同和問題をはじめとする人権問題の解決につながることを描きます。</p>
9	<p>ヒーロー</p> <p>企画兵庫県・(公財) 兵庫県人権啓発協会</p>	34分 H26	<p>近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題になっています。家族や地域、職場のつながり、いわゆる血縁や地縁、社縁の希薄化による問題です。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、私たちに何ができるのでしょうか。</p> <p>この作品の主人公の行男は、働き盛りのサラリーマンです。地域社会と縁を持たなかった行男が、あるきっかけから地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていきます。こうした体験の中で、自分の家族との絆も深めていきます。「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうために、このドラマは制作されています。</p>

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
10	ほんとの空 企画兵庫県・(公財) 兵庫県人権啓発協会	36分 H25	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故の風評被害の問題これら多くの人権課題に共通する根っこ部分は、私たちに誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。 誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解しています。その一方で、私たちは自分や身近な人に関わる出来事には敏感に反応するけれど、それ以外のことには他人事のように感じたりします。また、私たちは、自分や家族の生活を守るために、あるいは誤解や偏見に気づかずに、他者を排除したり、傷つけたりしがちです。誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思う事。すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうために、このドラマは制作されています。
11	桃香の自由帳 企画兵庫県・(公財) 兵庫県人権啓発協会	36分 H24	核家族が進む中、人々の地域などへの意識が大きく変わり、お互いにふれあい、支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかったり相手のことを誤解して排除したりするなど、私たちは気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。 このドラマは、劇的な事件は描かず、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人とが寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。
12	クリームパン 企画 兵庫県・(財) 兵庫県人権啓発協会	36分 H23	現在、私たちの身の回りでは、命が軽んじられる風潮が見られます。テレビや雑誌、インターネット等のマスメディアにおいても、「死ね」「殺すぞ」といった言葉が飛び交い、残虐な殺人の場面を数多く目にします。そして、実際にいのちをいとも簡単に奪ってしまう事件が連日のように起きています。子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、このドラマを見た方々に、今一度、「いのち」について自分の問題として考えていただけるような人権啓発ビデオを制作しました。
13	あの空の向こうに 企画 兵庫県・(財) 兵庫県人権啓発協会	38分 H22	私たちが普段何気なくつかっている携帯電話やインターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう。携帯やインターネットによる人権侵害はいつ、だれの身におきても不思議ではない深刻な問題です。このドラマは決して携帯や、インターネットを敵視するものではありません。文明の利器を凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも「人」なのです。インターネット等の利用にあたっての人権意識・人権感覚の重要性や人と人とのふれ合い等を大切に、こころ豊かなコミュニケーション社会をめざして、このドラマを制作しました。
14	親愛なる、あなたへ 企画 兵庫県・(財) 兵庫県人権啓発協会	37分 H21	現在の社会情勢をふまえ「地域と人権」をテーマに、「地域に疎遠であった主人公の変容」を中心に描いた作品です。主人公の生き方を通して、日頃の自分自身の言動をふり返るとともに、自分の身近で様々な課題を有し困難な状況に陥っている人たちに感心をもつことの大切さに気づき、地域を見直す良い機会ができるように制作しました。
15	「私」のない私 ～同調と傍観～	30分 H20	両親の言いつけを守り、まじめに働く主人公は、周囲で起こる様々な事件の前で、「おかしい」と思いながらも、上司に睨まれることを恐れて「俺には関係ないこと」と流れに身を任せてしまうが…。人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説部の2部構成で問題提起しています。人権研修やワークショップでの活用にも最適な、新しいタイプのビデオ教材です。

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
16	夕映えの道 企画 兵庫県・(財) 兵庫県人権啓発協会	38分 H19	もし、わが子がインターネットを使ってほかの人の人権を侵したら、逆にわが子がその被害者になり『いじめ』にあったら、あるいは学校や地域で同じ事件が起きたなら…。「あなたなら、どうしますか？」と、私たちに問いかける作品です。また、このもんだいはインターネットを利用しない人々にとっても、無縁ではありません。地域や家庭内での「無責任なうわさ話」や「根強い偏見」が元になり、インターネットによる人権侵害へとつながっていくことがあるからです。インターネット社会で、私たちは「どう生きるか」「人とどう関わるか」「社会とどうつながるか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さを見つめ直していただくために、このドラマは制作されました。
17	私の好きなまち 企画 兵庫県・(財) 兵庫県人権啓発協会	35分 H18	私たちの住む地域、家庭、職場、学校には、人の数だけ価値観や生き方があります。しかし、時として人は「異質なもの」や「自分とは異なる考えをもつもの」と特別視したり、排除したりしがちです。この作品は、誰もが体験しうる身近な問題を取り上げながら、「それぞれの違いを認め合い、共に生きる」「相手を思いやる」「夢をもって生きる」ことの大切さを私たちに訴えかけています。そして、同和問題を今日的な視点から考えることの大切さと、私たち一人ひとりが「人権文化に満ちた差別のない共生社会づくり」の主役であることに気づいていただきたいと思います。
18	泣いて笑って涙してポ コアポコ ～いっぽ歩一歩ゆっくり すすもう～ 文部科学省選定	53分 H18	大阪府松原市に住む、車いすの福井千佳子さんが、しょうがいがありながら、空き缶を拾ってそれをお金に替え、そのお金でお年寄りに車いすを5年間に100台も贈った心温まる実話の話の映画化です。千佳子さんの日常生活を通して、苦難の努力とお母さんの力強い生き方を、人々の温かい励ましをまじえて描き、明るい社会をめざす感動的な作品です。
19	壁のない街 企画 兵庫県・(財) 兵庫県人権啓発協会	35分 H17	私たちの周りでは、障害のある人への就職差別があったり、アパートへの入居を断られるなど、障害のある人の自立と社会参加が阻まれることもあります。「障害のある人も地域の中で普通の暮らしができる社会に」というノーマライゼーションの理念の実現は今なお完全とは言えません。この背景には、私たちの心のどこかに障害のある人を特別視したり、排除したりする意識、いわゆる「こころの壁」のあることが考えられます。このような「こころの壁」をなくすためには、自分の生き方の問題として受け止め、正しい理解を深めることが求められます。本ビデオが一人ひとりの人権意識を高め、住みよいまちづくりの推進に役立ち、障害のある人のない人も、みんなが安心して元気に暮らせるユニバーサル社会の実現につながることを期待しています。
20	そっとしておけば… ～寝た子を起こすなど いう考え方～ 企画 人権啓発ビデオ 制作委員会	36分 H17	生まれたばかりの赤ちゃんは部落差別の存在を知らず差別することもない。そっとしておけば自然と差別はなくなるという意見に思わずうなずいてしまいそうになるが、そこに重大な落とし穴がある。この「寝た子を起こすな」という考え方は今でも根強く存在しています。部落問題の解決にとって、古くて新しい課題です。考えること話し合うことを大切にしたい人権研修やワークショップでの活用に最適な新しいタイプのビデオ教材です。
21	もう一度あの浜辺へ 企画 兵庫県	38分 H16	4人に1人が65歳以上という超高齢化社会の到来を目前にして老老介護や高齢者に対する虐待が深刻な社会問題となってきています。こうしたこうれいしゃをそがいたりぎゃくたいするこういは、どこ家庭でもだれの身にも起こりうる身近な人権問題です。日常生活の中で高齢者の人間としての尊厳を奪うようなことがないかどうか振り返り高齢者が安心してこころ豊かな生活を送ることができる社会を築いていくにはどうすればいいのかを考えるドラマです。

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
22	(アニメ) 5等になりたい	76分 H16	小さいころの病気がもとで4歳まで立つことすらできなかった律子。小学校に入っても、皆と同じように歩くことができず、みんなからからかわれます。傷心の律子は、足のマッサージ師石橋先生から「人としての本当のやさしさ、強さ」を教わります。それをきっかけに、明るくたくましく生き抜こうとする律子。その夢は『かけっこで5等になる!』こと。運動会が近づき、「律子ちゃんがいたら負けちゃうよー」と大騒ぎの友達。さあ、律子の5等の夢はかなうのでしょうか。
23	ありがとうハーナ	45分 H16	原因不明の病気にかかりだんだんと視力を失っていく美樹。回復の見込みがないことを知り、絶望感に襲われ家を飛び出した美樹に迫る一台の車。衝突寸前で美樹の命を助けた愛犬のハーナは、下半身に重傷を負い、前足でしか歩けなくなりました。「ハーナが歩けるようにするにはどうしたら」障害を乗り越えて立ち上がる犬のハーナ、その精神力と生命力が教えてくれた「命の尊さ」。今少女は明日に向かって一歩一歩あゆみ出しました。
24	(アニメ) 地球が動いた日	76分 H16	1995年1月17日未明に発生した阪神・淡路大震災を通して築かれた子供たちの友情物語です。その中で、私たちは自分ひとりでは生きていけないということ、人と人が互いに支えあっているから今の自分があるということに気付かされます。最後には、とても勇気づけられ、明るい気持ちにさせてくれるすばらしい作品です。
25	風かよう道	35分 H15	この作品は、古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜、占い、穢れなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、今日的な問題であるコンピューターを悪用した差別事件も絡めて展開していきます。鑑賞するだけでは終わらない、人権・同和問題において学習すべき問題点をしっかり提起する教材用ドラマとして制作されています。
26	(アニメ) 生きています 15歳500gで生まれた全盲の女の子	22分 H15	井上美由紀さんは、未熟児網膜症のため幼くして失明しました。お母さんは美由紀さんの自立を思い厳しく育てます。美由紀さんはお母さんに反発しながらも母との深い愛情を育みます。甘やかす愛情ではなく真正面から子供と向き合う姿は親と子のあり方を問い直し、強烈に心を揺さぶります。成長していく美由紀さんの心を丹念に描き、視聴者の意識に訴える作品に仕上がっています。
27	私自身を見てください	27分 H14	私たちの暮らしの中にある身近な固定観念・ステレオタイプ・偏見をドラマと解説部の2部構成で問題提起しています。人権研修・ワークショップでの活用にも最適な新しいタイプの教材です。
28	虐待から子供たちを守るために	53分 H14	近年、子どもに対する虐待が深刻化しています。虐待は閉鎖的な空間で起こりやすく、虐待かどうかの判断が難しいこと、また、比較的低年齢の子供が虐待を受けることが多く助けを求めることができないなどから、まだまだ表面化しにくい状況です。この作品は、問題を潜在化、深刻化させないためには、当事者やその関係だけではなく地域での連携が不可欠であることを描いています。
29	人の世に熱と光を ～水平の渴仰者 西光 寺・清原隆宣～	26分 H14	21世紀の人権文化の思想的原点である『水平社宣言』。その精神を清原さんは、ズバリ「水平のものさし」の見直しという。人は、何故、平等になれるのか。人はなぜ、尊敬しあえないのか。西光万吉の系譜を引く清原さんを通して、『水平社宣言』の核心を描いたノンフィクション作品。

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
30	ま・さ・か わたし が!? ～情報社会を考える～ 企画 兵庫県	25分 H14	「まさか、私の流した情報が、こんなに人を苦しめることになるうとは…」「まさか、私がこんな目に遭うなんて…」このようなことが情報社会では起こりがちです。氾濫する情報を無批判に受け入れるのではなく、情報や情報機器を有効に活用していくことが大切。ますます進展する情報化の中でどうすれば豊かな人間関係を築きお互いの人権が尊重される社会にできるのかをこのビデオは問いかけています。
31	翔太のあした ～子供の目から見た男 女共同参画社会～	54分 H14	性別の役割分担にとらわれず、一人ひとりの個性や特性で社会にかかわっていかうという考え方に基づく社会が「男女共同参画社会」。物語は3部構成となっており、学校、職場、家庭とそれぞれの場面で男女の意識の差を描くことにより、未来を担う子供たちに自ら男女共同参画社会の実現への行動力を育んでもらうことを目的としています。
32	父さんが泣いた日	28分 H14	家族ぐるみの付き合いをしていた、安田家と岡本家。ある事件がきっかけで、仲たがいすることになってしまった。その訳は…。「僕の父さんが泣いている。どんな時も泣かなかった父さんが泣いている…」人権を身近な問題として考えてもらいます。
33	街かどから 企画 兵庫県	24分 H13	閑静な住宅街で起こった単車事故をきっかけに地域社会の人間関係の希薄さや、人々の身勝手さが浮き彫りになります。地域社会でともに暮らす人々が、大人・若者・外国人などの枠を超えた交流を図り、偏見や異質性を排除する意識に気づき、互いを思いやる豊かな人間関係を育むにはどうすればよいかを問いかけています。
34	心のメガネ曇ってませ んか?	20分 H13	日常生活の中にみられるいくつかの事例を紹介して思い込みや偏見が、どうして形成されていくのか、どうすればそれをなくしていけるのかを分かりやすく説明。こういうことってあるな・・・とうなずいてしまう場面がいくつか出てきます。
35	(アニメ) いのち輝く灯 北九州市制作	48分 H13	人生の途中で障害をもつ身となった奈津子とその恋人・雅人(母親が同和地区出身)、そして盲目の老人・昭吉とのかかわりや家族を含めた周りの人々との関係を通して、「人権」とは何かを問いかけ、なぜ人が人の人権を無視し差別するのか、また人が生きて行くうえで大切な「同胞の精神」とは何なのかを見る人に投げかけています。
36	人権を考える 女性と子どもと母親 文部省選定	30分 H11	キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、悩みながら日々の生活の中から誤った知識や偏見のあることに気づき、同和問題をはじめ、女性差別・在日外国人差別など、人権を学び、差別解消に向かって行動していく作品です。
37	ゆかりの鍵	54分	鍵のかかった引き出しから古い手紙の束を見つけ、両親のつらい過去を初めて知った中学一年生のゆかりは、兄・卓也の結婚差別にも直面する。すべての真実をさらけ出し、語り合った末に見つけ出した家族のきずなどは……。
38	はばたけ 明日への瞳	51分	僕たちの学級には情緒障害児の小坂勇二という子がいます。勇二君は、矢野君というガキ大将にいじめられています。(文部省選定)
39	全国水平社の思想と闘 いに学ぶ	48分	このビデオは全国水平社の創立までの経過や背景、解放に立ち上がった方々の思想と闘いの歴史を、人権学習に活用しやすいように編集したものです。

番号	題名	上映時間 年度	内容・企画のねらい
40	被差別部落の成り立ちに学ぶ	45分	このビデオは被差別地域の歴史的過程や、地域の担った芸能文化について人権学習に活用しやすいように編集したものです。
41	三人兄妹 (キョウダイ)	43分	若い人たちが自らの考えをぶつけ合っていくことで、差別の壁を見事に克服した物語です。登場する三人の兄弟は、同和問題への理解の程度の差はありますが事態に前向きに対処します。対象地域出身の女性も、自分の代で差別の悪循環を断ち切りたいと考えておりこれまでにない新鮮な映画になっています。「入門篇」として、差別のかたちが描かれています。
42	八人は考えた (企業啓発)	30分	この作品は、ある職場の差別事件を契機に、差別された青年の同僚や上司たち八人でもたれた会議の過程を同時進行で見て行くことを通じ、職場啓発がどうあるべきか、不況下の企業の生き残りとうどう結びつくかを問いかける。
43	久美のねがい	30分	一人娘の久美に同和地区出身の恋人がいると知って、日頃差別意識をもっていないつもりだった父親は激怒する。それをとりなそうとする母親。そうしたドラマを通して、自分でも気付かない隠された差別意識を、どのようにぬぐい去っていくかを訴えます。
44	私たちと人権 課題編	30分	自分自身の人権意識を問い直し、自ら考え、生き方を変え、行動するきっかけとなることを意図して作られています。
45	(アニメ) 燃える！ 青春のかがり火 中・高生対象	30分	高校生の美鈴は姉と恋人が母や叔母など多くの人々から受けている部落差別に毅然と立ち向かいながら愛をはぐくんでいく姿に感動し、同級生と語らってビデオを制作し、文化祭で上映して差別がいかに間違ったことかを強く訴えていく。
46	夢風船	55分	サッカーのコーチを引き受け、親たちの身びいきによるトラブルも妻や娘、町の人々の助けをかりながら少年たちの心をつかみ、親の差別心を溶かして行く。
47	(アニメ) とべないホテル (児童向け)	17分 H4	羽がちぢんで生まれたために、とべないホテルがいました。彼を励まし、助ける仲間のホテルたち。足の不自由な妹のために、ほたる捕りにやってきた姉と弟。ホテルと子どもたちのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さをえがきました。
48	私たちと人権 家庭編	26分 H2	家庭に焦点を当て、私たちの意識やものの考え方についていろいろな角度から問題提起する。
49	(アニメ) 未来からの メッセージ	25分 H2	就職差別に焦点を当てた、同和問題啓発アニメーション。
50	部落差別のおこり	30分 H1	いつ、誰が、何のために部落差別をつくり、どのような状況の下で部落差別を強化していったか —小倉藩の差別政策から学ぶ—
51	(アニメ) 人間の詩	26分 H1	ふとしたことから、部落差別の問題に直面することになった18歳の少女ミツ子が、その差別の根源を追い求める(人権の歴史学習)
52	冬の道	50分 S60	本社総務部長になった主人公が、社内差別問題にめざめていく。